

主要事業の進捗状況等について

- 1 次期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定について・・・・・・・・・・ 1
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

保健医療局・感染症対策局

＜次期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定について＞

(1) 目的及び経緯等

本県では、ギャンブル等依存症対策の総合的かつ計画的な推進のため、2020年3月に「愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定した。

国は、2022年3月に「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」を改定しており、これを踏まえ、本県においては2022年度中に次期「愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定する。

【計画期間】

2023年度～2025年度

【計画策定に係る体制】

「愛知県ギャンブル等依存症対策推進協議会」において検討を行う。

(主な構成員：保健・医療・福祉関係者、当事者・家族・支援者、公営競技場・遊技場関係者、学識経験者 等)

(2) 主なポイント

ア 発症予防対策について、生活様式等の変化を踏まえ、SNSの活用等による普及啓発を積極的に実施していく。

イ 進行・再発予防及び回復支援について、本県独自のART-G(あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム)による治療・心理教育的アプローチと司法書士の「暮らしの相談」による生活支援を両輪とした取組を推進していく。

ウ 依存症対策の基盤整備について、相談支援機関等個々の体制整備を図る「点の強化」の推進とともに、関係機関の連携充実を図る「面の強化」を推進していく。

エ 現行計画期間(2020年度～2022年度)においては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、啓発リーフレット配布や集合研修開催といった対面事業の実施等が難しかったため、普及啓発や人材育成等の取組を推進していく。

(3) スケジュール

2022年	8月1日	第1回愛知県ギャンブル等依存症対策推進協議会《骨子案検討》
	11月頃	第2回愛知県ギャンブル等依存症対策推進協議会《素案検討》
	12月頃	パブリックコメント実施
2023年	2月頃	第3回愛知県ギャンブル等依存症対策推進協議会《最終案検討》
	3月	計画の策定・公表

次期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画骨子(案)

第1章 ギャンブル等依存症対策の基本的な考え方等

1 基本理念

- ①ギャンブル等依存症の発症、進行及び再発の各段階に応じた防止及び回復のための対策と円滑な日常生活及び社会生活への支援
- ②多重債務、貧困、虐待、自殺、犯罪等の関連問題に関する施策との有機的な連携への配慮

2 本県のギャンブル等をめぐる状況

「ギャンブル等依存が疑われる者」の割合は、18歳から74歳の人口の2.2%と推計
(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター調査)

3 ギャンブル等依存症対策の方向性

4分野の対策を推進(①発症予防、②進行・再発予防及び回復支援、③依存症対策の基盤整備及び④多重債務問題等への取組)

第2章 具体的な取組

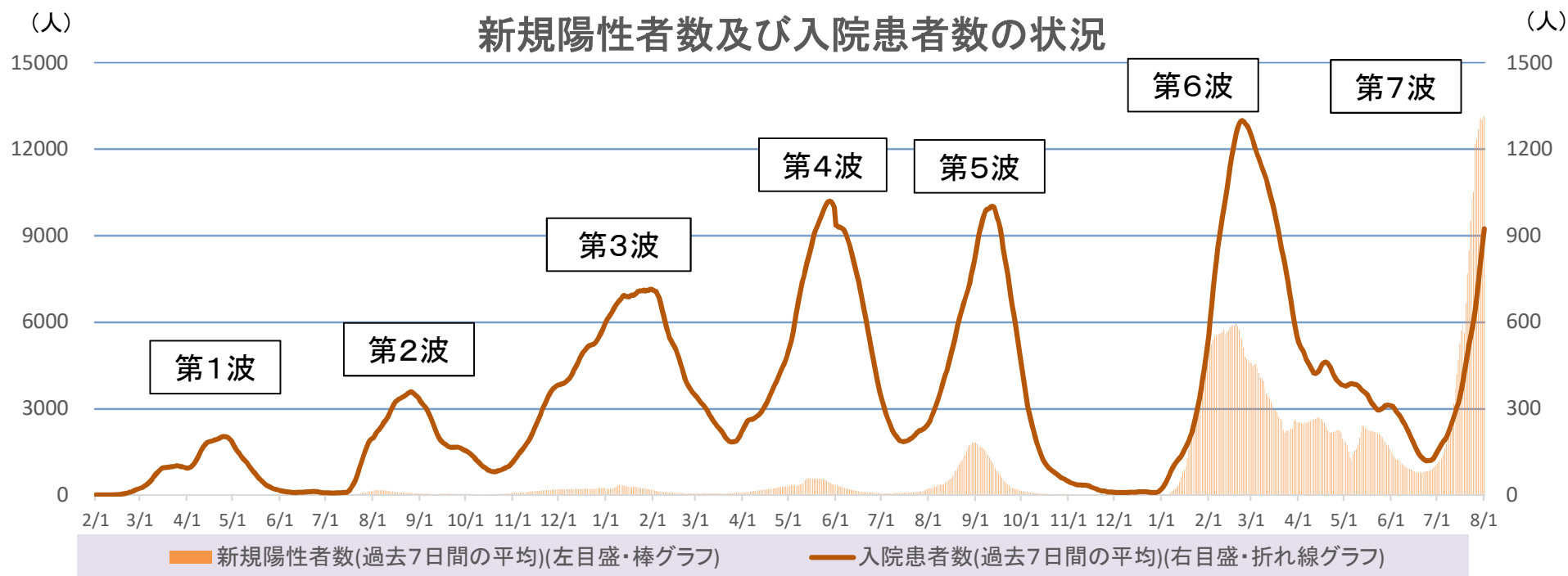
分野	取組
①発症予防	○普及啓発 SNSの活用等による広報活動の推進
	○予防教育 ○アクセス制限等
②進行・再発予防及び回復支援	○相談支援 本県独自のART-G(あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム)と 司法書士による「暮らしの相談」の複合的实施と周知
	○医療提供体制の整備 治療拠点機関設置に向けた取組
	○家族への支援 ○民間団体の活動に対する支援 ○社会復帰支援
③依存症対策の基盤整備	○依存症対策の体制整備 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築 県と関係団体による共同の取組の推進
	○人材の確保 オンライン研修の効果的な活用
④多重債務問題等への取組	○多重債務問題への取組 ○違法なギャンブル等の取締りの強化

第3章 ギャンブル等依存症対策の推進体制と進行管理等

「愛知県ギャンブル等依存症対策推進協議会」による進行管理

<新型コロナウイルス感染症対策について> 感染の状況について

- 本県では、2020年2月以降、感染者の発生が続き、2月から4月にかけての第1波以降、波を経るごとに感染者数は増加し、2021年12月28日から第6波、2022年6月21日から第7波に突入した。
- オミクロン株による第6波では、2月15日に新規陽性者数が6,661人、2月20日に入院患者数が1,322人と、過去最多を記録したが、第7波では、感染力の強いBA.5系統への置き換わりにより、7月28日には新規陽性者数が15,675人となり、最多を更新した。8月1日時点における7日間平均の新規陽性者数は13136.1人、入院患者数は923.7人である。



愛知県内の新規陽性者数									(2022年8月1日時点)
第1波 2020年2月-4月	5月-6月	第2波 7月-8月	9月-10月20日	第3波 10月21日-2021年3月30日	第4波 3月31日-7月20日	第5波 7月21日-12月27日	第6波* 12月28日-2022年6月20日	第7波* 6月21日~8月1日	計
481人	38人	4,070人	1,178人	21,496人	24,976人	54,491人	452,421人	240,452人	799,603人

※2022年1月18日以降の名古屋市再感染事例及び2月7日以降の再感染事例を含む

医療提供体制について

(1) 患者受入医療機関

- 感染再拡大に備え、最大確保病床数が2,540床、うち重症者用病床数が230床となった。
- 感染状況によるレベル分類に応じて稼働病床を運用することとした。

基準項目		注意(警戒)領域			危険領域		
		注意 (グリーン)	警戒 (イエロー)	厳重警戒 (オレンジ)	危険 (レッド)		
県のレベル分類		レベル0・1A	レベル1B	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
(1) 入院患者数 (感染拡大時：単日) (感染縮小時：過去7日間平均)		242人未満	稼働病床 1,214床の20% 242人※3	稼働病床 1,214床の40% 485人※4	稼働病床 1,723床の50% 861人※5	稼働病床 1,945床の60% 1,167人※6	稼働病床 2,540床の80% 2,032人※7
(2) 新規陽性者数 (過去7日間平均)		50人未満	5人/10万人/週 50人	15人/10万人/週 160人	50人/10万人/週 530人	—	—
参考項目							
入院患者のうち重症者数※1 (過去7日間平均)		27人未満	稼働病床 139床の20% 27人※3	稼働病床 139床の40% 55人※4	稼働病床 172床の50% 86人※5	稼働病床 183床の60% 109人※6	稼働病床 230床の80% 184人※7
新規陽性者のうちの高齢者数 (70歳以上) (過去7日間平均)		7人未満	新規陽性者(50人) の14% 7人	新規陽性者(160人) の14% 22人	新規陽性者(530人) の14% 75人	—	—
陽性率(過去7日間) (陽性者数/検査者数※2)		2.5%未満	2.5%	5% 旧国指標ステージⅢ 5.0%	10% 旧国指標ステージⅣ 10.0%	—	—
※1 人工呼吸器、ECMO装着者又はICU入室者		※2 陰性確認の検査を除いた人数		※3 稼働確保病床の20%			
※4 稼働確保病床の40%		※5 稼働確保病床の50%		※6 稼働確保病床の60%		※7 稼働確保病床の80%	

- 2020年10月に**新型コロナウイルス感染症専門病院**として愛知県立愛知病院を開院。中等症患者及び軽症の高齢者を集中的に受け入れ(100床)。
- **重点医療機関は70病院、疑い患者受入協力医療機関は35病院**を指定。
- **専門的治療が必要な患者の受入医療機関**は、認知症用32病院、透析患者用29病院、精神患者用8病院、外国人対応46病院、がん患者用45病院、妊産婦用24病院、小児患者用24病院、障害児者用15病院を確保。

(2) 受診・相談体制

- **受診・相談センター**は、県保健所及び5保健所設置市に設置。(16か所)
- **愛知県救急医療情報センター**において、診療・検査医療機関を案内。
(県委託、医師会運営)

(3) 保健所の機能強化

- **保健所業務の重点化**
 - ・ 自宅療養者の健康観察や濃厚接触者の特定等の業務を重点化し、重症化しやすい患者への速やかな対応を最優先して実施。
 - ・ 「配食サービスの申込み」「宿泊療養者の入所申込み」「パルスオキシメーターの配布・回収」等、**保健所職員でなければ対応が困難な業務以外の業務について、外部委託を実施。**
- **感染拡大時の対応**
 - ・ **夜間の入院調整業務を本庁に一元化。**
 - ・ 連絡がとれない自宅療養者への訪問による状況確認は、**市町村と連携**して行い、容体の急変に迅速に対応。

(4) 宿泊療養施設

名	称	部屋数	開設日
①東横 I N N 名古屋名駅南		805 室	2020年 8 月 7 日～
②豊川グランドホテル		58 室	2020年12月 4 日～
③東横 I N N 三河安城駅新幹線南口 II		246 室	2020年12月22日～
④R & B ホテル名古屋新幹線口		262 室	2021年 8 月24日～
⑤蒲郡ホテル		114 室	2021年 9 月15日～
⑥ホテルウィングインターナショナル名古屋		224 室	2022年 1 月28日～
⑦ベッセルイン栄駅前		225 室	2022年 2 月 4 日～
⑧コンフォートホテル豊橋		132 室	2022年 2 月18日～
⑨ホテルルートイン知立		158 室	2022年 3 月25日～
⑩東横 I N N 中部国際空港 I		150 室	2022年 7 月29日～
⑪ホテルルートイン名古屋栄		363 室	2022年 8 月 8 日～
計		2,737 室	

(5) 自宅療養者への医療提供体制

- **電話診療や往診での対応が可能な医療機関、自宅への訪問が可能な訪問看護ステーションを支援し、自宅療養者への医療提供体制を推進。**
- 政令市・中核市には、県より補助金を交付。

(6) 検査体制

- **診療・検査医療機関 2,123を指定**（うち病院210、診療所1,913）
- **検査能力 約92,000件/日**（PCR検査 約50,000件/日、抗原検査 約42,000件/日）
- **県衛生研究所 変異株対策として整備した遺伝子解析装置を用い、県独自にゲノム解析を実施。**
80件／5日
- **高齢者施設・保育施設等におけるPCR検査等業務の委託**
高齢者施設・保育施設等で新型コロナウイルス感染者が発生した場合、入所者や従業員等、全員を対象としてPCR検査を実施。**専門業者に委託し、24時間体制で検査業務を行い、クラスター発生防止対策を強化。**

(7) PCR等検査無料化

- **感染拡大傾向時の一般検査事業**
感染拡大傾向時に感染不安を感じる無症状の方を対象として、**PCR検査及び抗原定性検査を無料で実施。**
- **ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業**
飲食、イベント、旅行・帰省等の活動の際の検査を希望する無症状の方を対象として、**抗原定性検査を無料で実施。**
- **大型連休期間中における抗原定性検査無料検査所の設置**
春の大型連休期間中の移動を通じた新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、抗原定性検査を無料で受けることができる臨時の検査所を名古屋駅、金山駅及び豊橋駅に設置。
お盆期間中は、新たに**県営名古屋空港にも設置**するとともに、前回利用者の多かった**名古屋駅は、検査所を2カ所に増やす**など、**利便性を向上するとともに検査体制を強化。**

ワクチン接種の状況について（8月1日時点）

○総接種回数及び接種率

区分	1回目 (うち小児接種)		2回目 (うち小児接種)		3回目		4回目		合計 (うち小児接種)
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	
愛知県全体 全人口母数：755.9万人 (小児母数：47.9万人)	6,173,459回 (74,188回)	81.67% (15.47%)	6,088,468回 (68,113回)	80.55% (14.21%)	4,526,162回	59.88%	718,615回	9.51%	17,506,704回 (142,301回)
うち県大規模集団 接種会場分	460,244回 (2,128回)	— —	452,353回 (1,708回)	— —	264,805回	—	28,829回	—	1,206,231回 (3,836回)

○年代別接種率

区分	5～11歳	12～17歳	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65歳以上	全人口比
1回目	15.47%	71.79%	85.30%	79.86%	79.85%	81.88%	93.58%	93.73%	94.67%	81.67%
2回目	14.21%	71.05%	84.77%	79.27%	79.39%	81.56%	93.33%	93.54%	94.45%	80.55%
3回目		27.12%	41.53%	46.45%	49.42%	57.63%	76.98%	84.74%	90.37%	59.88%
4回目			0.38%					30.76%		9.51%

大規模集団接種会場の接種状況について（8月1日時点）

<3回目、4回目接種>

接種回数：回

会場・開設期間	接種回数				
		LINE枠	キャンセル枠	予約なし接種	
名古屋空港 ターミナルビル 1月24日（月）～ 8月31日（水）	3回目	94,214	66,316	15,550	12,348
	4回目	10,524	7,397	12	3,115
	小計	104,738	73,713	15,562	15,463
藤田医科大学 1月24日（月）～ 8月31日（水）	3回目	74,261	33,234	34,717	6,310
	4回目	9,713	4,358	3,466	1,889
	小計	83,974	37,592	38,183	8,199
愛知医科大学 メディカルセンター 1月31日（月）～ 8月31日（水）	3回目	23,209	19,036	2,008	2,165
	4回目	2,666	1,963	32	671
	小計	25,875	20,999	2,040	2,836
藤田医科大学 岡崎医療センター 1月31日（月）～ 8月31日（水）	3回目	43,163	35,449	3,377	4,337
	4回目	4,101	3,028	252	821
	小計	47,264	38,477	3,629	5,158
安城更生病院 2月5日（土）～ 8月28日（日）	3回目	11,672	9,165	784	1,723
	4回目	1,825	1,499	0	326
	小計	13,497	10,664	784	2,049
東三河総合庁舎 2月7日（月）～ 6月12日（日）	3回目	18,286	12,130	4,112	2,044
	4回目	実施しない			
各接種計	3回目	264,805	175,330	60,548	28,927
	4回目	28,829	18,245	3,762	6,822
合計		293,634	193,575	64,310	35,749

<小児接種>

接種回数：回

会場・開設期間	接種回数	
名古屋空港 ターミナルビル 3月5日（土）～ 8月28日（日）	1回目	1,111
	2回目	897
	小計	2,008
藤田医科大学 3月5日（土）～ 8月13日（土）	1回目	386
	2回目	319
	小計	705
愛知医科大学 メディカルセンター 3月5日（土）～ 8月27日（土）	1回目	423
	2回目	346
	小計	769
藤田医科大学 岡崎医療センター 3月7日（月）～ 8月15日（月）	1回目	208
	2回目	146
	小計	354
各接種計	1回目	2,128
	2回目	1,708
合計		3,836

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について

- 2022年5月25日から、重症化予防を目的として、以下の者を対象に4回目接種が実施されている。7月22日からは、4回目接種の対象に医療従事者等及び高齢者施設等の従事者が追加された。

4回目接種の対象者（3回目接種完了後5か月を経過）	人 数
60歳以上の者	2,028,000人
18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する者等	325,000人
医療従事者等	270,000人
高齢者施設等の従事者	196,000人
合 計	2,819,000人

○ 4回目接種の対象者拡大について

愛知県では、4回目接種の実施開始方針が示された当初から、国に対し、医療従事者や高齢者施設等の従事者も接種対象とするよう働きかけを行ってきた。

2022年4月28日	「医療従事者や高齢者施設等の従事者」が4回目接種の対象になるか、国の見解を確認。 ⇒国からは「4回目接種の対象にはしない」旨の回答
6月30日	「医療従事者や高齢者施設等の従事者」更には「3回目接種を完了しているすべての国民」を4回目接種の対象に加えるよう要請する文書を国へ提出
7月14日	岸田総理から「医療従事者及び高齢者施設等の従事者」を4回目接種の対象にする方針が示される。
7月22日	「医療従事者等及び高齢者施設等の従事者」が4回目接種の対象に加えられた。

○ 4回目接種促進の取組について

入所施設・通所施設を利用する高齢者・障害者及び在宅療養中の高齢者・障害者への接種を加速するため、施設や在宅への巡回接種を行った医療機関に対し、県独自の財政支援を実施。（施設従事者も対象に含まれる。）

* 施設への巡回接種：接種1回あたり1,000円 * 在宅への巡回接種：訪問1回あたり10,000円